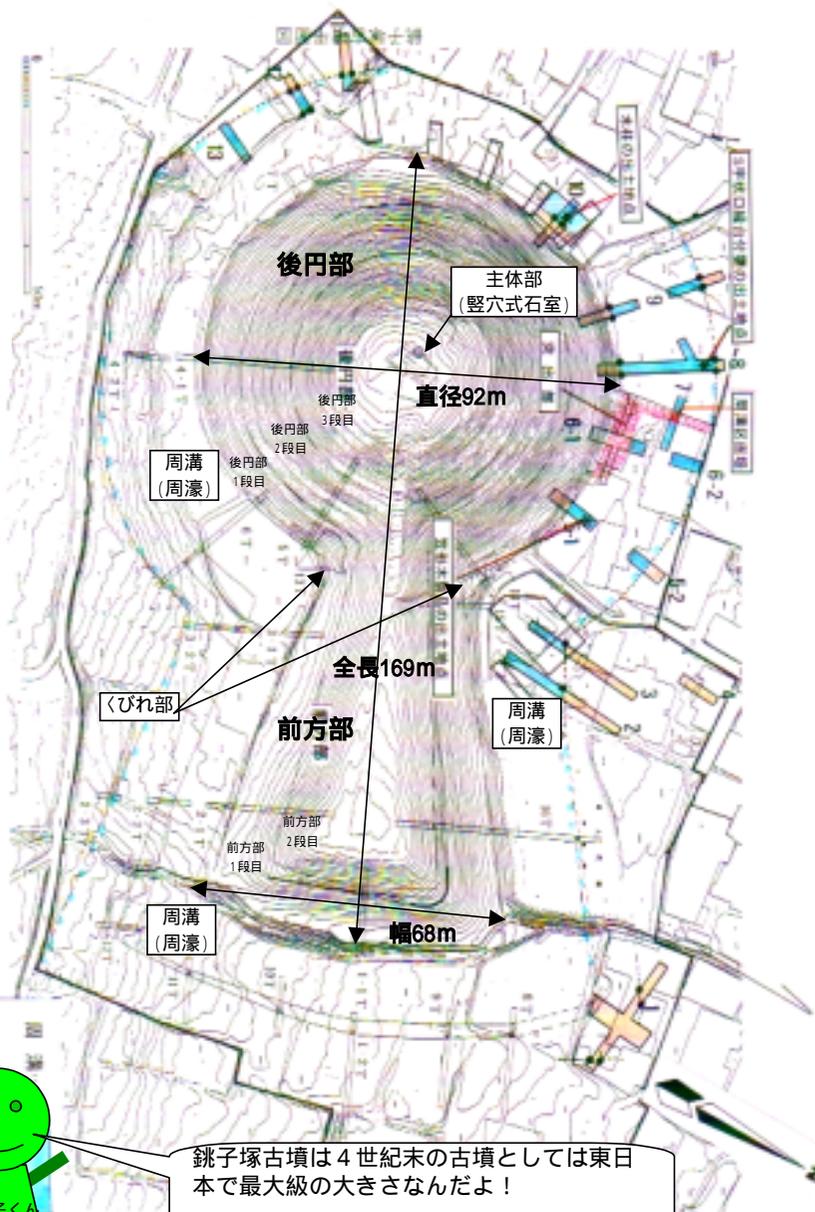


国指定史跡銚子塚古墳の概要



銚子塚古墳は4世紀末の古墳としては東日本で最大級の大きさなんだよ！

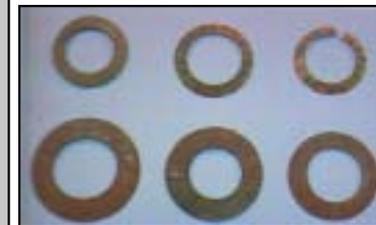
所在地	山梨県東八代郡中道町下曾根字山本 笛吹川の左岸、曾根丘陵の北縁	
造られた時期	古墳時代前期 4世紀末(約1601年前)	
古墳の大きさ	墳丘の全長 169m 後円部の直径 92m 後円部の高さ 15m 前方部の幅 68m 前方部の高さ 8.5m	
古墳の形	前方後円墳(ぜんぼうこうえんふん) 前方部は2段築成、後円部は3段築成	
主体部(石室)	後円部の墳頂に竪穴式石室あり、石室は割石小口積み 石室底面に割竹形木棺の痕跡あり	
副葬品	三角縁神人車馬鏡を含む鏡5枚 車輪石6点、石釧5点、杵形石製品2点 貝輪1点 勾玉6点、管玉150点、鉄剣3点、鉄刀4点 鉄製やじり、鉄斧3点 (すべて東京国立博物館蔵)	
その他の出土品	埴輪(円筒埴輪・朝顔形埴輪・壺形埴輪ほか) 土器(S字状口縁台付甕など) 木製品(木製埴輪・火鑽板ほか)	
発掘調査など	昭和3年(1928年) 竪穴式石室の発見と副葬品の出土 昭和41年(1966年) 石室の発掘と墳丘の測量(明治大学) 昭和58年(1983年) 整備の予備調査(山梨県教育委員会) 昭和60年(1985年) 整備のための試掘調査(山梨県教育委員会) 平成13年(2001年) 整備のための試掘調査(山梨県教育委員会) 平成16年(2004年) 整備のための試掘調査(山梨県教育委員会)	
文化財指定	昭和5年(1930年)に国史跡に指定される	



墳丘から出土した埴輪(山梨県立考古博物館蔵)



三角縁神人車馬鏡



車輪石